



リオネット補聴器は生まれも
育ちもニッポン

日本語の特徴や日本人の生活様式を
知っている日本人たちが
日本人のために作る補聴器
いつまでも寄り添うために
日本のための補聴器を日本でつくる

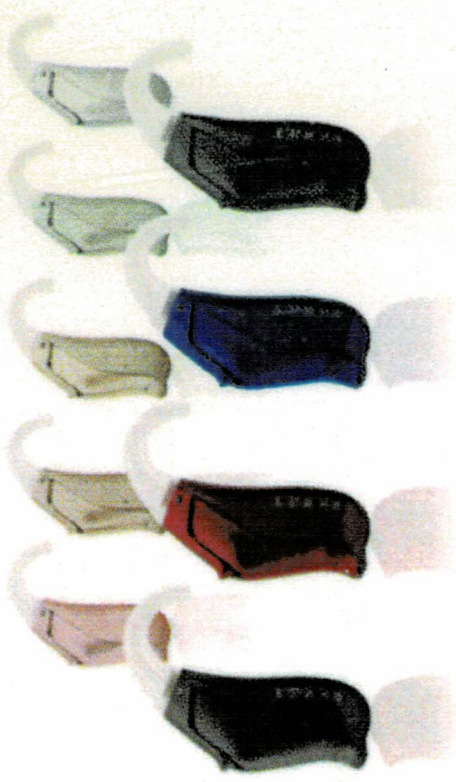
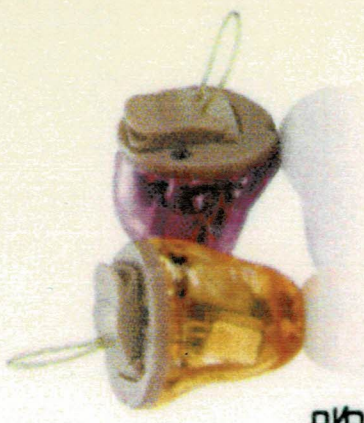


リオネットセンター草加店は おかげさまで5周年



リオネット補聴器

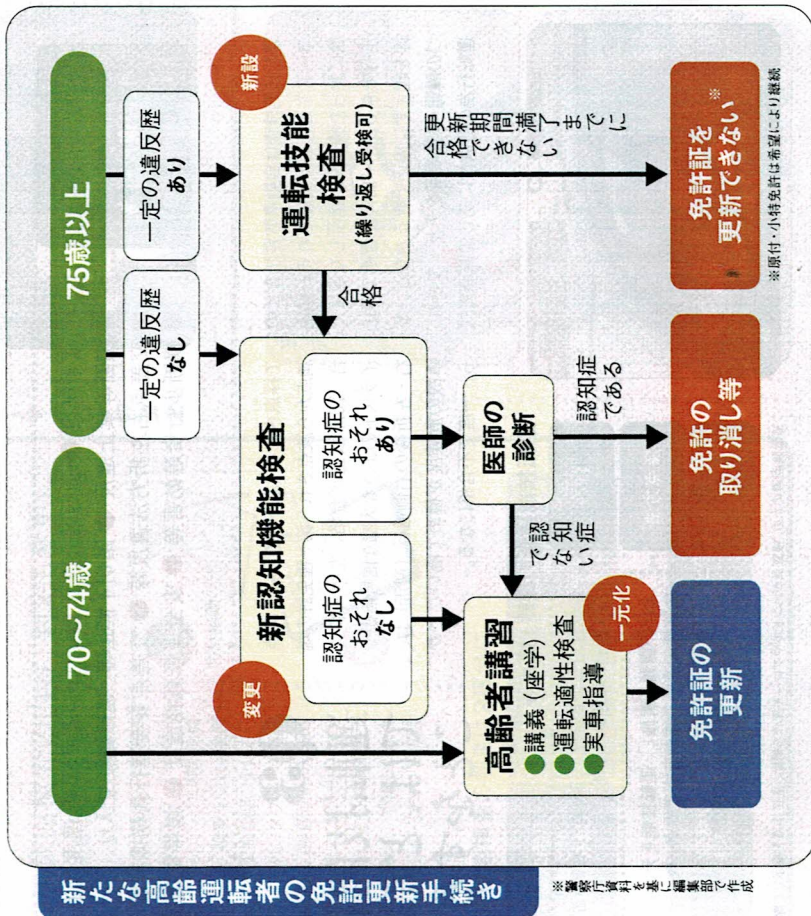
- ・ 日本初の量産型補聴器
- ・ 世界初のデジタル補聴器
- ・ 世界初の防水耳掛け型補聴器
- ・ 世界初の自動騒音抑制方式
- ・ 日本国内に約300店舗の販売店
(リオネットセンターグループ)





免許更新手続きはどうなるの？

大きな変更点は下図の「75歳以上」の人のと同じように新認知機能検査を受け、検査で認知症のおそれがない場合は、70～74歳の高齢者と同じように高齢者講習を受け、認知症のおそれがある場合、医師の診断を仰ぐ。運転技能検査に合格していれば、高齢者講習の実車指導は免除される。



一定の違反歴があると運転技能検査が必要に

75歳以上の違反者の免許制度に関しては、平成29年3月に大きな改正があった。このときは認知機能にフォーカスされ、「信号無視」など18項目の違反に関して、更新時ではなく、違反時に臨時認知機能検査を受け、医師が認知症と診断すれば、免許が取り消しとなった。

新たに考えられている高齢者の免許更新の流れは、上図のとおり。75歳以上で一定の違反歴（次ページ参照）があると、運転技能検査（実技）が課せられ、不合格の場合、免許証の更新ができなくなる。

警察庁によれば、この年代の一定の違反歴がある運転者は、同年代の免許保有者全体に比べて、死亡・重傷事故を起こす確率が約2倍になるといふ。こうした実情を踏まえ、「検査対象となる違反歴がある者は、将来において重大事故を起こしやすい」という分析結果があることについて説明し、受検者の理解を得ることが適宜とされた。

75歳以上で一定の違反歴がな

違反歴で運転技能検査（実技）が必須に！

75歳以上が対象



変わります、



高齢者の免許更新

高齢運転者の事故防止を目的とする、改正道路交通法で注目される

運転技能検査（実技）の内容が明らかになった。

75歳以上で一定の違反歴がある運転者が対象で、来年6月までに実施予定。認知機能検査も今回の改正で変わるので覚えておきたい。

License Renewal Procedures

for

Elderly Drivers



4

違反歴が なければ、 今ままでどおり？

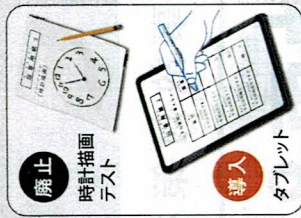
過去3年間、無違反だったり、違反
があっても運転技能検査の対象とな
る11の違反行為には該当していな
い場合、新認知機能検査を受け、認
知症の疑いの有無を判定される。認
知症のおそれがないければ、高齢者講
習に進み、認知症の疑いがあれば、簡
素化され一元化される。



↑ COLUMN

認知機能検査の内容・判定も変更に

認知機能検査は効率化に向け
の見直される。まず、医師の
診断書を提出した人は認知機
能検査を免除する。認知機能
のスクリーニングの精度を維
持しつつ、検査を受ける高齢
運転者や実施機関の負担を軽
減するため、タブレット端末
を導入し、検査時間の短縮等
を図る。また、簡素化のため、
これまであった「時計描画テ
スト」は廃止。判定もこれまで
では3区分だったが、認知症



認知機能検査の判定は2区分に

認知症のおそれなし (第1分)	認知機能の低下のおそれなし (第3分)
認知症のおそれあり	認知機能の低下のおそれあり (第2分)

事前テストでは 2割が不合格判定！

違反者の運転技能検査、違反
のない人の実車指導、どちらも
問われるのは難しい運転技術で
はなく、普段から守らなくては
ならない安全運転の基本だ。「信
号通過」など、一見、不合格に
なるはずもない項目が多いが、
警察庁が事前に75歳以上の運転
者を対象にテストを行ったところ、
218人中約2割が不合格
だったという。そのうち最も多
かったのが「一時不停止」。停
止線の手前でしっかり止まれて
いない、交差点に車の前部が
入ってしまうなど、被験者の約
5割に一時不停止があった。
運転技能検査で不合格になれ
ば免許は更新できず、実車指導
で点数が悪いと免許証の自主返
納を勧められることになる。「自
分はそうならない」と多くの運
転者が高齢者は考えがちだが、
同年代の約2割が不合格の
運転をしているという現実は大
きな衝撃に突き当たっている。運
転の安全と将来にわたる免許の
必要性と真摯に向き合いたい。

2

運転技能検査 の対象となる 違反は？

運転技能検査の受検対象となる違反
行為は、下記の11項目。これは警察
庁が過去3年間に死亡・重傷事故を
起こした人の数や違反行為を分析
し、将来重大事故を起こす危険性が
高い違反行為を特定したものだ。過
去3年間にこれら11の違反行為が1つ
でもあれば、運転技能検査の対象と
なり、過去3年間の範囲を更新時か
ら遡るのかどうか、詳細は2021
年5月末現在未定。免許証の更新期
間中なら何回も繰り返し受検するこ
とができるが、混雑している場合、
すぐに受検できないこともあるので、
スケジュール調整のうえ、早めに予
約したほうがいいだろう。

対象となる
11の違反行為

- 信号無視 ● 通行区分違反 ● 通行帯違反等 ● 速度超過
- 横断等禁止違反 ● 踏切不停止等 ● 遮断踏切入り
- 交差点右左折方法違反等 ● 交差点安全進行義務違反等
- 横断歩行者等妨害等 ● 安全運転義務違反 ● 携帯電話使用等

3

運転技能検査 では、どんな ことをするの？

で採点される(右下欄参照)。100点
満点から減点され、第一種免許の場
合、70点以上が合格。左ペー
ジのイラストのような大幅な信号無視や
右・左折後の右側通行(逆走)は、
事故の危険度が極めて高いことか
ら、一度で不合格になる。

運転技能検査の課題・採点等

課題	指示速度による走行、一時停止、右折・左折、信号通過、段差乗り上げ
採点方法	上記の課題を実施し、運転技能をチェック。※危険性に応じて減点方式で採点。
合否ライン	70点以上/100点(第一種免許) 80点以上/100点(第二種免許)



※危険回避のため、検査員がハンドル操作を補助。修正措置を指示した際も減点。